

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費

事業名 **新** 警察官待機宿舍建設費(県単独分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 装備施設課 電話番号：058-271-2424 (内 2262)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,612 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0								0
要求額	18,612							13,800	4,812
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

下呂警察署の有事即応体制を確保するため、職員宿舍を整備することにより必要戸数を確保する。

(2) 事業内容

下呂警察署管理職員宿舍建設工事

令和3年度から令和4年度までの2か年計画で整備を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

警察職員の有事即応体制を確保するための職員宿舍整備であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	90	事務費
役務費	34	確認申請手数料
委託料	18,488	工事設計委託料、地盤調査委託料
合計	18,612	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

令和3年度に設計業務が完了し、令和3年度から令和4年度に建設工事を実施する予定である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和4年度までに、下呂警察署管理職員宿舎の整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
		件	件	件		
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

職員宿舎の整備事業であり、指標等は設定できない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	警察職員の有事即応体制を確保するための職員宿舎整備であり、必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 警察職員宿舎は有事即応体制を確保するための重要な施設であり、既存宿舎の老朽化が進行する中、長寿命化対策による維持保全、老朽宿舎の廃止集約化、廃止集約化に伴う再整備を計画的に行い、必要戸数を確保する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 職員宿舎の必要戸数を確保するため、長期的な長寿命化対策及び廃止集約化計画に併せて、再整備の必要性、手法及び規模を継続的に検討していかなければならない。
